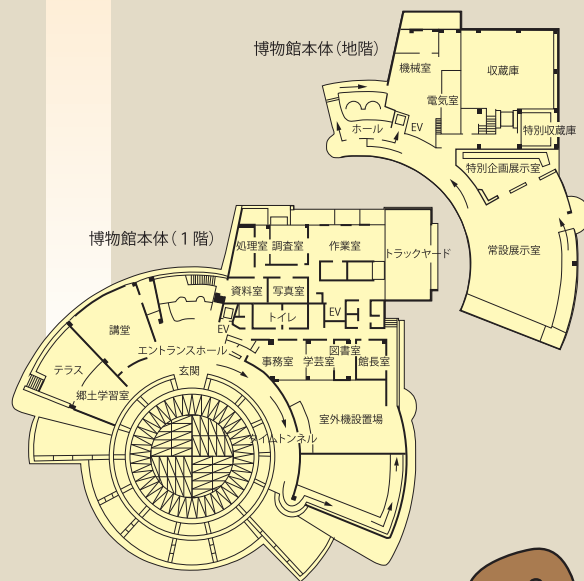
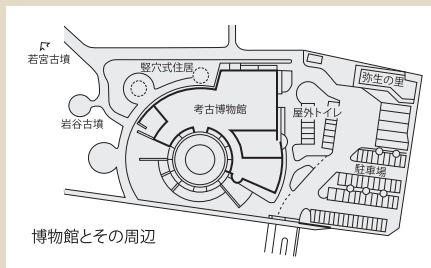


下関市立考古博物館の概要

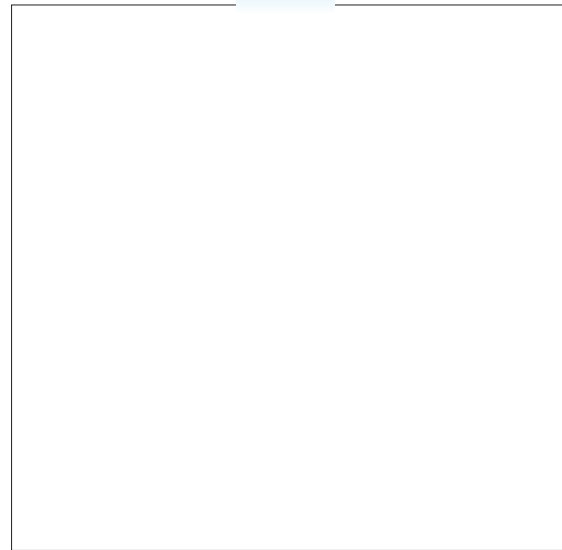
構 造	鉄筋コンクリート造2階建て (地上1階、地下1階)
敷地面積	12,942㎡
建築面積	1,875.35㎡
延床面積	2,663.65㎡
	●1階／1,477.24㎡ エントランスホール、講堂、 郷土学習室、事務室、 学芸室、館長室など
	●地階／1,186.41㎡ 常設展示室、特別企画展示室、 収蔵庫など
屋外施設	竪穴住居、岩谷古墳
駐 車 場	87台 (うちバス5台)
付属施設	「弥生の里」



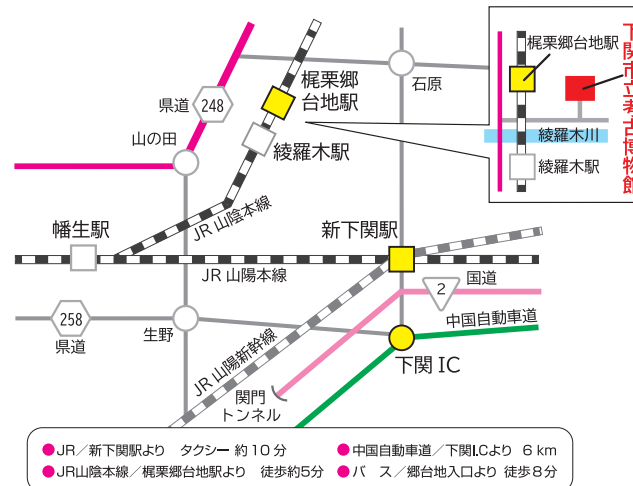
下関市立考古博物館
マスコット「ぶえ吉」

Shimonoseki City Archaeological Museum

記念スタンプ



交通案内



ご利用案内

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日／毎週月曜日、12月28日～1月4日
入 館 料／無料

下関市立考古博物館

〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡454番地
TEL 083-254-3061 FAX 083-254-3062

下関市立 考古博物館



みんなで探ろう 古代を知れば未来がみえてくる。



今から2000年をこえる昔、初めて米作りが始まった。
弥生人の集団は、綾羅木郷の丘に深い貯蔵用竪穴を掘って食べ物
をいれた。

周りの湿地帯は次第に開墾され、水田が広がった。

大人も子供も泥にまみれて働いた。

弓のようにひろがる純白の砂浜では、貝を掘り、岩場でサザエやアワ
ビを採った。

ときには地引網を引く大人たちに混じって子供たちの
歓声がかきこえてくる。

はるかな時を過ぎ、いま綾羅木の村がよみがえる。



遺跡公園と考古博物館



貯蔵用竪穴ジオラマ



出土土器



竪穴住居(復元)



岩谷古墳(移築復元)



若宮古墳



エントランスホール



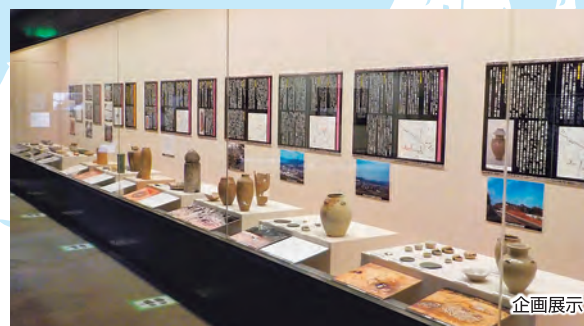
館内展示



常設展示



常設展示



企画展示



講堂



タイムシネマ



郷土学習室



さわる展示



立体土器バスル

下関市立考古博物館



公式サイト